

第2回世界獣医師会-世界医師会“One Health”に関する国際会議

—“One Health”概念から実践へ—

「福岡宣言」を採択

概要

第2回世界獣医師会—世界医師会“One Health”に関する国際会議は、11月10日、開会式典に秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、「“One Health”概念から実践へ」をテーマに2日間にわたり開催された。1日目の冒頭、主催4団体代表から、ジョンソン・チャン世界獣医師会次期会長、ザビエル・ドォー世界医師会元会長、横倉義武日本医師会長、藏内勇夫日本獣医師会長による挨拶が行われた。横倉会長は挨拶で、「人類と感染症の闘いの歴史を振り返ると、ペストや天然痘、インフルエンザ、エイズ、エボラ出血熱など、ヒトと疾患との闘いは、感染症との闘いが大部分を占めてきたと言っても過言ではない。一方で、感染症との闘いの歴史が、医学の発展、進歩に大きく寄与してきたとも言える。これまでも医師と獣医師は、それぞれの立場から着実な取り組みをしてきた。今後、“One Health”の理念を共有して、医師と獣医師とが知を結集することにより、さらなる感染症対策の推進、延いては医学、獣医学の進歩に繋がるものと確信している。グローバル化が進む中、世界規模での感染症の蔓延が懸念されていることから、当国際会議では、人と動物の共通感染症、薬剤耐性菌等の現状及び動向と課題に焦点を当て、国内外、特にアジアの専門家の声を聞くことを主な目的としている」と当国際会議の開催の意義と目的を述べた。

主催者挨拶に引き続き、秋篠宮殿下のお言葉、厚生労働省大臣挨拶（代読）、農林水産省大臣挨拶（代読）、小川洋福岡県知事、北橋健治北九州市長による挨拶がそれぞれ行われた。

続いて、2002年にノーベル化学賞を受賞した島津製作所シニアフェローで田中耕一記念質量分析研究所長の田中耕一氏による基調講演「分析機器 - 感染症対策への更なる貢献を目指して」が行われた。「人と動物の共通感染症セッション」では、「地域における医師と獣医師の協力」と題して福岡県における医師と獣医師の連携の事例が報告された他、「JICAセッション」が行われた。2日目は、「厚生労働省セッション：薬剤耐性（AMR）対策」、毛利衛氏による県民公開講座（福岡県セッション）「宇宙から見た地球生命のつながり」等が行われた。2日間の会議の成果物として、人と動物の共通感染症への取り組みにおいて医師と獣医師の連携を強化する内容の「福岡宣言」が採択された。

1. 日 程：2016年11月10日（木）、11日（金）
2. 場 所：リーガロイヤルホテル小倉、北九州市、福岡県
3. 主 催：世界獣医師会、世界医師会、日本医師会、日本獣医師会
協 力：福岡県医師会、福岡県獣医師会、北九州市医師会、北九州市獣医師会
後 援：厚生労働省、農林水産省、環境省、文部科学省、日本学術会議、福岡県、
北九州市等
4. 出 席：横倉会長、松原副会長、道永常任理事、釜菴常任理事、畔柳参与
阿部計大、三島千明（日本医師会 JDN）
国際課：能登課長、浜本係長、小林課員
広報課：田中課長、森田主事役
地域医療第3課：荒川課長補佐、秋山課員
5. 参 加：31カ国、約600名
小森貴（プログラム委員会委員、日本医師会前常任理事）
九州ブロック医師会120名、神奈川県、和歌山県、鳥取県各医師会
世界医師会（WMA）CMAAO関係参加者
ケタン・デサイ WMA 会長（インド）、オトマー・クロイバー WMA 事務総長（ドイツ）、プラサート・サルンヴィヴァッド CMAAO 会長（タイ）、WMA 理事、CMAAO 議長、理事、各国医師会長他、フランス、ドイツ、オランダ、スウェーデン、ロシア、ラトビア、ブラジル、韓国、台湾、香港、インド、タイ、ネパール、インドネシア、マレーシア、フィリピン、バングラデシュ、ミャンマー各国医師会

※ 詳細は、別紙プログラム及び「福岡宣言」参照。

第2回世界獣医師会・世界医師会“One Health”に関する国際会議
 - “One Health” 概念から実践へ -
 平成 28 年 11 月 10 日、11 日
 リーガロイヤルホテル小倉、北九州市

プログラム

第1日目	11月10日(木)
8:00-9:00	登録
9:00-10:00	<p style="text-align: center;">開会式</p> <p>司会：ジープ・ノガ世界獣医師会政策担当、道永麻里日本医師会常任理事</p> <p>開会挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レネ・カールソン 世界獣医師会会長 ・ザビエル・ドォー 世界医師会元会長 ・横倉 義武 日本医師会長、世界医師会次期会長 ・藏内 勇夫 日本獣医師会会長 ・釘田 博文 FAO/OIE/WHO 代表者 <p>お言葉 秋篠宮殿下</p> <p>来賓挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省 ・農林水産省 ・福岡県知事 ・北九州市長
10:00-10:40	<p style="text-align: center;">基調講演</p> <p>座長：横倉 義武 日本医師会会長</p> <p style="text-align: center;">分析機器—感染症対策への更なる貢献を目指して—</p> <p style="text-align: center;">田中 耕一 株式会社 島津製作所シニアフェロー 田中耕一記念質量分析研究所長</p>
10:40-11:00	休憩
11:00-12:00	<p style="text-align: center;">“One Health” の概念</p> <p>座長：オトマー・クロイバー 世界医師会事務総長</p>
11:00-11:20	<p style="text-align: center;">WVA と WMA —より健康な世界の構築への可能性—</p> <p style="text-align: center;">第1回 “One Health” に関する国際会議の成果と提言</p> <p style="text-align: center;">ザビエル・ドォー 世界医師会元会長</p>
11:20-12:00	<p style="text-align: center;">ワンヘルスの基本コンセプトと実践を通じて 2030 年の国連が目標とする</p> <p style="text-align: center;">持続可能な未来の達成に向けて</p> <p style="text-align: center;">ジョージ・ルーデック</p> <p style="text-align: center;">One Health Commission “One Health” 教育特別委員会共同議長</p>
12:00-13:00	昼食

第2日目	11月11日(金)
8:00-10:10	薬剤耐性 (AMR) 対策
8:00-8:10	厚生労働省 挨拶：浅沼 一成 座長：釘田 博文
	厚生労働省健康局結核感染症課長 国際獣疫事務局 (OIE) アジア太平洋地域事務所地域代表
8:10-8:35	医療における AMR の脅威と対策
	ヘルマン・グーセンス アントワープ大学病院 微生物学研究室長
8:35-9:00	世界レベル及び国レベルでの AMR 対策
	カティンカ・デバログ FAO アジア太平洋地域事務所上級動物生産衛生担当官
9:00-9:25	医療における適正使用の取組ー世界と日本ー
	大曲 貴夫 国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター長
9:25-9:50	獣医療における慎重使用の取組ー世界と日本ー
	田村 豊 酪農学園大学 獣医学群衛生・環境学分野食品衛生学教授
9:50-10:10	質疑応答 (20分)
10:10-10:30	休憩
10:30-12:00	県民公開講座 (福岡県セッション)
	挨拶：藏内 勇夫 毛利 衛
	日本獣医師会会長 宇宙から見た地球生命のつながり 宇宙飛行士、日本科学未来館館長
12:00-12:10	休憩
12:10-13:10	“One Health” に関するその他の話題
	座長：ザビエル・ドォー
	世界医師会元会長
12:10-12:35	One Health アプローチー軍における獣医学の貢献
	リアンダー・ブッフネル 国際軍事医学委員会 獣医学技術委員会委員長
12:35-13:00	小児病棟で活躍するセラピー犬たち
	松藤 凡 柴内 裕子
	聖路加国際病院副院長・小児総合医療センター長 赤坂動物病院 総院長
13:00-13:10	質疑応答 (10分)

13:10-14:10	昼食
14:10-16:10	<p style="text-align: center;">将来における“One Health”の概念の考察</p> <p>座長：パトリシア・ターナー 世界獣医師会国際学問領域担当理事</p>
14:10-14:35	<p style="text-align: center;">将来の医師、獣医師に対する One Health 教育：学生の視点から</p> <p>マルコム・チョン・クオック・ウェイ 国際獣医学生協会会長 棚元 なな 国際医学生連盟</p>
14:35-15:00	<p style="text-align: center;">我が国における獣医学教育改革の現状と 獣医大学における One Health 教育について</p> <p>中山 裕之 日本獣医学会理事長</p>
15:00-15:25	<p style="text-align: center;">獣医学課程への One Health コンセプト導入</p> <p>イルファン・エロール 前トルコ食糧農業畜産省食品管理局長</p>
15:25-15:50	<p style="text-align: center;">保健教育に向けた新たな One Health アプローチケーススタディ</p> <p>コラリア・ピセンテ 世界医学教育連盟</p>
15:50-16:10	パネルディスカッション (20 分)
16:10-16:30	休憩
16:30-18:00	<p style="text-align: center;">総括</p> <p>司会：ジープ・ノガ世界獣医師会政策担当官、酒井健夫 日本獣医師会副会長</p>
16:30-17:00	<p style="text-align: center;">One Health アプローチの実践的運用化</p> <p>ノエル・リー・J・ミランダ フィリピン保健省熱帯医学研究所コンサルタント</p>
17:00-18:00	<p style="text-align: center;">会議の結論・勧告及び世界獣医師会と世界医師会による 将来に向けてのイニシアチブ</p> <p>レネ・カールソン 世界獣医師会会長</p>
	<p style="text-align: center;">「福岡宣言」の採択と調印</p> <p style="text-align: center;">世界獣医師会、世界医師会、日本医師会、日本獣医師会</p>
18:00-18:15	閉会

関連イベント：2016 動物感謝デー in JAPAN

11月12日(土) 10:00～17:00

西日本総合展示場及びあさの汐風公園

Fukuoka Memorandum

Humankind has a responsibility to show respect for all forms of life on Earth as well as for the environment. Physicians and veterinarians have the scientific knowledge, medical training, the statutory accountability, as well as the opportunity and the responsibility to engage in a wide range of employment fields that deliver services to the benefit of people, animals and the environment.

In October 2012, the World Veterinary Association and World Medical Association signed a memorandum to collaborate in a unified approach to tackle common health issues to improve Global Health, and to focus on zoonotic diseases, responsible use of antimicrobials and enhancing collaboration on education, clinical care and public health.

In November 2013, the Japan Medical Association and Japan Veterinary Medical Association signed a written agreement to share academic research information related to the development of human and veterinary medicine as well as to collaborate together to build a safe and healthy society. In addition, JMA and JVMA agreed to reinforce collaborations on infectious diseases, disaster preparedness and management according to the lessons learned from the Great East Japan Earthquake occurred in 2011. The conclusion of this agreement was also achieved by regional medical associations and regional veterinary medical associations throughout Japan.

In November 2016, the World Veterinary Association (WVA), World Medical Association (WMA), Japan Medical Association (JMA), and Japan Veterinary Medical Association (JVMA) jointly held the Second WVA-WMA Global Conference (GCOH) on One Health in Japan following the inaugural GCOH held in Madrid, Spain, in 2015.

Physicians and veterinarians from around the world gathered together in Fukuoka, Japan to exchange information and consider effective countermeasures to important global threats related to “One Health”, including zoonotic diseases and antimicrobial resistance and laudable results were achieved.

Based on the outcomes of this conference, WVA, WMA, JMA and JMVA agree to move from the validation and recognition stage of the “One Health Concept”, to the practical implementation stage.

We hereby declare the following:

1. Physicians and veterinarians shall promote the exchange of information aimed at preventing zoonotic diseases and strengthening cooperative relationships, as well as to undertake further collaboration and cooperation aimed at creating a system for zoonosis research.
2. Physicians and veterinarians shall strengthen their cooperative relationships to ensure the responsible use of important antimicrobials in human and animal healthcare.
3. Physicians and veterinarians shall support activities for developing and improving human and veterinary medical education, including understanding the One Health concept and approach to One Health challenges.
4. Physicians and veterinarians shall promote mutual exchange and strengthen their cooperative relationships in order to resolve all issues related to the creation of a healthy and safe society.

November 11, 2016

World Veterinary Association
Representative

World Medical Association
Representative

Johnson Chiang, President-Elect

Xavier Deau, Immediate Past President

Japan Medical Association
Representative

Japan Veterinary Medical Association
Representative

Yoshitake Yokokura, President

Isao Kurauchi, President

福 岡 宣 言

人類は、地球上の全ての生命に配慮し、地球環境を健全に維持する責任を担っている。医師と獣医師は、科学的知識を持ち、専門的訓練を受け、法に定められた義務を遂行するとともに、人と動物の健康と環境の維持に係る幅広い活動分野において業務に携わる機会と責任を有している。

2012年10月、世界獣医師会と世界医師会は、“Global Health”の向上のため、また、人と動物の共通感染症への対応、責任ある抗菌剤の使用、教育、臨床及び公衆衛生に係る協力体制を強化するため、両者が連携し、一体となって取り組むことを合意し、覚書を取り交わした。

2013年11月、日本医師会と日本獣医師会は、健康で安全な社会を構築するため、医療及び獣医療の発展に関する学術情報を共有し、連携・共同することを同意し、協定書を取り交わした。更に、日本医師会と日本獣医師会は、2011年3月に発生した東日本大震災における教訓を踏まえ、感染症、自然災害などの危機に対し備えることは勿論、医師と獣医師との連携の強化がいかに大切であるかという点についても意見の一致を見た。この協定書締結は、日本全国の地域医師会と地方獣医師会においても達成された。

2016年11月、世界獣医師会、世界医師会、日本医師会、日本獣医師会の4者は、2015年、スペインのマドリードで開催された第1回“**One Health**”に関する国際会議に続いて、第2回目の国際会議を日本で開催した。

医師と獣医師は、世界各地からこの福岡の地に集い、人と動物の共通感染症、薬剤耐性対策等を含む“**One Health**”に関する重要な課題について情報交換と有効な対策の検討を行い、評価すべき成果を収めた。

我々は本会議の成果を踏まえ、“**One Health**”の概念を検証し、認識する段階から、“**One Health**”の概念に基づき行動し、実践する段階に進むことを決意し、以下のとおり宣言する。

1. 医師と獣医師は、人と動物の共通感染症予防のための情報交換を促進し、協力関係を強化すると共に、その研究体制の整備に向け、一層の連携・協力を図る。
2. 医師と獣医師は、人と動物の医療において重要な抗菌剤の責任ある使用のため、協力関係を強化する。
3. 医師と獣医師は、“**One Health**”の概念の理解と実践を含む医学教育および獣医学教育の改善・整備を図る活動を支援する。
4. 医師と獣医師は、健康で安全な社会の構築に係る全ての課題解決のために両者の交流を促進し、協力関係を強化する。

以上

2016年11月11日

世界獣医師会代表

世界医師会代表

次期会長 **Johnson Chiang**

元会長 **Xavier Deau**

日本医師会代表

日本獣医師会代表

会長 横倉義武

会長 藏内勇夫